

YAMAHA CONNECTION

いいにこいマイク

Body

●重要なのはボディだ

いけば、ボディは音源。エレクトリックギターの色音を決めるのはボディの材質であり、構造です。ヤマハのクラフツマンがギターづくりのもっともオーソドックスな手法。まずボディづくりにも神経をそそぐことからはじめるのは、このためです。**ソリッドギター** ボディ材の性質がダイレクトに音色に出やすいソリッドギター。ヤマハのソリッドギターはシリーズごとに素材選定、ラミネート比率とも細密にアプローチ。構造的にも、理想的な完全ソリッドの削り出しボディを採用しています。とくに、長年の楽器づくりの伝統を踏まえたヤマハの高水準の木工技術は定評のあるところです。**セミアコースティックギター** ボディ構造全体のバランスで音色が左右されるセミアコ。現在、サウンドホールを持ちながら中忠をウッドブロックでかためたセミソリッドのボディが主流です。トップギタリスト絶賛のヤマハSAシリーズは、中芯ブロックに、固いメープル材とピアノの響板にも用いられる柔らかなスプルース材を組み合わせた独創的なコンビネーションを採用しています。



フルアコースティックギター フルアコの場合、セミアコ以上にボディ構造全体のバランスが音色を左右します。新登場のAEシリーズでは、ひとつ

のスプルースブロックから内部響棒とも一体削り出すカーブドスプルーストップ、一枚のスプルースを成型するアーチドスプルース甲板トップの、よつたつ手法がとられ、それぞれに特色をもった鳴りのいいボディを実現。また、響棒の配置もフルアコのサウンドにとって重要な決め手となります。

●厳選されたヤマハのボディ材

メープル材 性質は固くタイトな音を生み、ソリッドハンバッキングモデルのボディトップ材に最適。ネック材としても汎用性に優れた代表的なマテリアルであり、ステージ映えの点でも申し分なし。**マホガニー材** 性質は柔らかく、甘い粘りと艶のあるひろがりを生みソリッドハンバッキングモデルのボディバック材にはなくてはならない。ネック材としても多用され、メープル材と並ぶ代表的な素材。

アルダー材 同じ柔らかな性質をもつマホガニー材の艶のあるひろがりに対し、乾いたひろがりを生む鮮やかな特徴。フェンダー社のオールドモデルに使われた「元のマテリアル」として有名なこの通好みのアルダー材を、ヤマハは独自のコンセプトのもとSF、SJ、SC、BB、SBの各シリーズに採用。

セミアコ 性質は柔らかくクリアですなおな音を生み、シングルポリンピックアップと好マッチング。サウンドイメージにぴったりの木地の美しさも魅力。**スプルース材** 性質はすこぶる柔らかく、立ちあがりが高く、フレッド感のある音色が特徴。グランドピアノの響板にも使われる高級マテリアルであり、その響きは限りなくアコースティック。

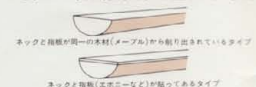
●**ネックの素材もサウンドを決める**
メープルネックはハートチのあるクリアな音が、マ

ホガニーネックは甘く粘りのある音が魅力です。ヤマハはさらに、それぞれの持ち味を活かす驚異のワンピース構造をSG、SC、BBシリーズの最高級モデルに採用。弦振動エネルギーが切れ目なく、理想的なループを描いてボディに伝わるため、サステインの効いた密度の高いサウンドが聞かれます。



●フィンガーボードも音を出す

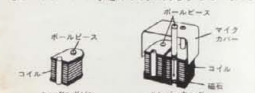
湿気に強くはげにくい、経年変化に強い素材を丹念に表面仕上げしたものが理想です。そして、材質の良し悪しはもちろぬ、ネックと組み合わされたときの音の融合、バランスが重要なポイント。ヤマハのフィンガーボードはそれぞれの機種に合わせたローズ、メープル、スライパッドエポニー、エポニーなどの吟味された素材を使用し、木地を活かした仕上げは人念そのもの。分厚く伸びのよいサウンドともなめらかな演奏性を見事に両立させています。



Pick-up

●ピックアップはエレクトリックギターの心臓

音量や高域・低域をコントロールすることでボディサウンドにより豊かなニュアンスを与え、最終的にサウンドを決定づけるのがピックアップの役目。構造の違いにより、シングルポリンピックアップとハンバッキングピックアップの2つがあります。**シングルポリンピックアップ** ピックアップのボビン中央にポールピースがあり、その周りにコイルが巻かれた、コイルが1つだけのピックアップ。サウンドは中低域のすなおさと高音域のソリッドなシャープさが身立。ヤマハのシングルポリンピックアップはJシリーズ、Cシリーズ、Xシリーズ、Rシリーズの4系統。それぞれにタックを組みボディとのマッチングが考慮された設計になっています。



ハンバッキングピックアップ シングルポリンピックアップを直列につなぎ、磁極をマッチングさせることによりハムを打ち消すように設計されたピックアップ。高感度で磁界が広く、ピックアップ面積も広いため音をよく拾い、伸びのあるサウンドが得られるというわけ。さらにハンバッキングピックアップはマイクカバの無縁によってオープンタイプとカーブドタイプの2つに。オープンタイプはよりブライトで力強いハイマフサウンドが、カ

バードタイプはメロウで甘さの中に歯切れよさを秘めたサウンドが武器。ヤマハのハンバッキングピックアップは独自の着磁方式をとるアルニコ合金製であり、しかもシリーズごとにコイルアレンジは異なり、世界に誇るGシリーズマイクを筆頭に、実に5系統のピックアップがエントリーしています。

●**ベース用にはダブルポールピースピックアップ**
ベース弦の強大な弦振動エネルギーを確実にピックアップするために考案されたのがこの方式。1本の弦に2個ずつのマグネットをバランスよく配置させピックアップ面積、磁界がともに広がり感度も一段とアップ。低音域はもろもろ中高音域にかけても豊かで伸びのあるサウンドがカムアウトされるサステインの効いたサウンドにも強味を發揮します。

Other Part

●**ブリッジでギター遊びをするギタリストもいる**
弦振動を最終的にボディへ伝えるブリッジは、音の伸びやピッチを左右する重要なパーツです。剛性の高いもほど音伸びがよくナチュラルなサス

ティンも得やすくなります。フルアコを除きヤマハのブリッジは、すべてボディにダイレクトにマウント。素材もベヴィデュイナイダイキャストや削り出しのステンが用いられ、弦振動エネルギーはマキシマムでボディへ、構造的にも各機種特性に合わせ、より微妙な弦高調整やオクターブコントロールが可能なタイプを採用しています。

●**ストップテールピースVSトラピーステールピース**
ストップテールピースの最大の利点は、弦高を変えることによりテンション(弦の張力)もコントロールできること。弦高を低くしてテンションを強めるとチューニングもスムーズになりサステインも得やすくなります。弦高を上げるとテンションが弱まるからベヴィゲーションには最適です。そして、プランコ型のトラピーステールピースはフルアコサウンドの独特の余韻を生むために不可欠です。

●**パフォーマンスも正確な音程がなければは**
やアウト。この音程を調節するのがチューニングマシン。糸巻です。強大な張力にもピッチもせず、微調整も思いのまま、スムーズにペーフェクトチューニングを保証してくれるものを選びたい。その点ヤマハのオリジナル糸巻の性能と信頼性は、内外のプロミュージシャンから着実な評価を獲得。

